

## 「北九州SDGs登録制度」申請書

北九州市長 様

所在地 北九州市門司区福岡県北九州市門司区伊川1951-3

団体名 ビルドメンテック株式会社

代表者 石飛 慎二

「北九州SDGs登録制度」について、関係書類を添付の上、下記のとおり申請します。

## 団体概要

(ふりがな)	びるとめんでつくかぶしがいしゃ	
団体名	ビルドメンテック株式会社	
(ふりがな)	いしとびしんじ	
代表者氏名	石飛 慎二	
所在地	市内事業所	北九州市門司区 福岡県北九州市門司区伊川1951-3
	主たる事業所	
事業概要	建設業	
企業・NPO法人等の別	企業	
業種（企業のみ）	建設業	
従業員数（企業のみ）	21～50人	
ホームページの有無	有	
ホームページURL	<a href="http://bmt.co.jp">http://bmt.co.jp</a>	

## 連絡先










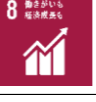










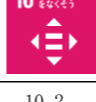











担当部署	開発事業部
担当者	NGUYENHONGAN
電話番号	093-483-3555
メールアドレス	<a href="mailto:an.n@bmt.co.jp">an.n@bmt.co.jp</a>

## 提出書類

- ・様式1：SDGs達成に向けた取組状況（チェックシート）
- ・様式2：SDGs達成に向けた宣言書
- ・様式3：地域課題への取組み
- ・【北九州SDGsクラブ未入会の場合】クラブ参加登録申込書（電子申請可）

SDGs達成に向けた取組状況 (チェックシート)

企業名 **ビルドメンテック株式会社**

No.	チェック項目	分類	関連する認定・表彰制度 取得していれば「具体的な取組内容」の記載は不要です	関連する主なゴール・ターゲット			具体的な取組内容	最も関連性のあるゴール・ターゲット	最も関連性のある「北九州市SDGs未来都市計画」の指標や取組
1	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握や使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	環境 (CO2削減)					① エネルギー効率向上のための定期的なメンテナンス： ・エアコンのフィルターを定期的に清掃し、熱効率を向上させる取り組みを行い、エネルギー消費の削減に努める。さらに、他の設備や機器も定期的なメンテナンスを実施し、エネルギー効率を最大化する。 ② クールビズ及びウォームビズの普及： ・クールビズ及びウォームビズの普及を促進するため、社内での啓発活動を行う。従業員に対して、適切な服装による冷暖房の使用削減を呼びかけ、エアコンの設定温度を調整することでエネルギーの節約を実現する。 ③ グリーンオフィスの取り組み： ・オフィス内に植物を配置し、緑化効果による空気浄化や快適な環境づくりを図る。	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3	ゴール13	環境 (1) ①	
2	事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。 3R (リデュース、リユース、リサイクル) を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。	環境 (廃棄物削減)					① 用紙の廃棄削減と再利用： ・コピー用紙の両面利用を推進し、片面を再利用する取り組みを実施している。これにより、用紙の消費量を削減し、廃棄物の発生を抑えることで、資源の有効活用と廃棄物削減に貢献している。 ② ゴミの分別： ・社内のゴミを分別する取り組みを実施している。分別の対象としては、紙類、プラスチック、ペットボトル、缶などが含まれる。適切な分別の実施により、リサイクルや資源の有効活用を促進し、廃棄物処理の効率化と環境負荷の低減に取り組んでいる。 ③ 中間処理業務の運営： ・産業廃棄物処理部門において、中間処理業務を運営している。適切な処理やリサイクルプロセスを経た後、廃棄物を最終処分する前段階での処理を行うことで、廃棄物の削減と環境への影響の軽減に取り組んでいる。	ゴール	指標
				9.4	12.3、12.5	13.3	ゴール12	環境 (2) ②	
3	事業に伴う調達 (原材料、部品、資材、サービス、使用する設備や事務用品等) について、環境負荷や人権などに配慮している。	環境・社会 (サプライチェーン管理)					協力会社との協力による児童労働防止対策の実施： ・工事を開始する前に協力会社と協力して安全書類を作成し、児童労働のないことを確認する措置を実施している。これには、協力会社に対して従業員の年齢確認や労働条件の遵守を求めることが含まれる。また、協力会社に対して児童労働防止に関する方針や基準を共有し、徹底した取り組みを行うよう促している。 ・年少者の就労報告書に関する誓約を協力会社に求め、取引先の労働条件や就労環境について適切な対応を行うよう促している。これにより、協力会社が児童労働のない環境を提供することが求められる。さらに、定期的なモニタリングや監査を通じて、児童労働の防止が実効的に行われているかを確認し、必要な改善策を提案・実施している。	ゴール	指標
				10.2	12.2	13.3	ゴール8	社会 (1) イ	
4	商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に取り組んでいる。	経済・社会 (技術向上)					・廃棄物の削減や品質向上を目指し、新技術や製品の開発に積極的に取り組んでいる。当社の新技術や新製品は、NETIS (新技術・新製品情報提供システム) に登録されている。これにより、他の企業や組織との情報共有や交流を通じて、より持続可能な技術や製品の開発に貢献している。 ・工事においては、高耐久性や長期の材料を使用している。これにより、建築物やインフラの寿命を延ばし、修繕や再建築の頻度を減少させることができる。また、耐久性の高い材料の使用は廃棄物の削減にもつながる。長期的な視点での材料選定や工事計画の立案を行うことで、環境に配慮した持続可能な工事を実現している。	ゴール	指標
				8.2	9.5	12.5	ゴール9	経済 (1) ②	
5	環境に配慮した商品やサービスの開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。	環境・経済・社会 (商品開発)					該当なし (自社の事業活動において、当該項目は該当しないため)	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3	ターゲット	具体的な取組	
6	長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、良好な労働環境の整備に取り組んでいる。	経済・社会 (労働環境整備)					①働き方改革の推進： ・定時間内勤務の実施：従業員の働く時間を適切に管理し、効率的な仕事の進行を図る。 ・土日祝日の休みの確保：従業員に週末や祝日をしっかりと休暇として与え、ワークライフバランスを促進する。 ・残業の削減：過度な残業を防ぐために労働時間の見直しを行い、労働者の健康と働きがいを重視する。 ②有給休暇の積極的な活用： ・全従業員が有給休暇を使い切り：従業員に対して有給休暇を十分に活用するよう推奨し、リフレッシュや休息の機会を提供する。 ・従業員への車の支援と半割住宅の支援： ・車の支援 (一人一台)：従業員に車を提供し、通勤や業務上の移動の手段を支援する。 ・半割住宅の支援：従業員に手頃な家賃で住宅を提供する取り組みを行い、住居の安定性と経済的負担の軽減を支援する。	ゴール	指標
				3.4	5.5	8.8	ゴール8	社会 (3) ①	
7	年齢、性別、国籍、障害の有無等による不当な差別を防ぐ体制の整備や人権教育等に取り組む、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。	社会 (ジェンダー平等)					① 取締役事務長の取締役事務長の女性の登用： ・性別に関係なく、適任者を採用・昇進させることを原則とし、取締役事務長に女性を任命する取組を行う。性別に基づく差別を排除し、女性のリーダーシップを促進する。 ・多様性に基づく採用と働きやすい環境の整備： ・性別、年齢、障害、疾病、国籍、学歴、宗教、支持政党などの要素による差別をせず、採用や昇進において人物本位・能力本位の評価を行う。外国人の正社員の採用を積極的にに行い、彼らが日本語の壁なく働ける職場環境を整備する。 ② 公平・公正な人事評価制度の構築： ・成果に基づく公平・公正な人事評価制度を導入し、従業員の働きがいやモチベーションを向上させる。能力や業績を評価し、適切な昇進や報酬制度を提供する。 ③ 定年制度の撤廃： ・就業規則において、定年制度を撤廃し、年齢に基づく差別を排除する。労働力の活用を最大化し、能力に基づいた長期的な雇用を実現する。	ゴール	指標
				5.5	8.5、8.8	10.2	ゴール10	社会 (1) ③	
8	セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメントなど、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。	社会 (ハラスメント防止)					・ハラスメントに関する法令を遵守し、セクシャルハラスメントやパワーハラスメントなどあらゆるハラスメント行為の予防に取り組む。 ・従業員がハラスメント問題に直面した場合、専門の弁護士や社労士と相談できる体制を整備する。	ゴール	指標
				5.1、5.4	8.8		ターゲット	具体的な取組	
9	疾病予防や早期発見、感染症防止などの衛生対策を講じるとともに、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	社会 (健康経営)					・労働安全衛生法の「事業者が講ずべき快適な職場環境の形成のための措置」に基づいて、職場環境の整備を行っている。 ・労働安全衛生の向上を目指し、定期的な安全会議および安全教育を実施している。これにより、労働者の安全意識を高め、事故や健康被害の予防に取り組んでいる。 ・従業員の健康管理の一環として、定期的な健康診断を実施している。これにより、従業員の健康状態を把握し、早期の健康管理や対策を行うことが可能となっている。 ・社内では禁煙・分煙の取り組みを実施している。これにより、受動喫煙のリスクを軽減し、健康的な職場環境を提供している。	ゴール	指標
				3.4	8.8		ゴール3	社会 (3) ①	
10	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報の外部への発信やインターンシップの受入れなど、社内外にわたる人材の育成に取り組んでいる。	経済・社会 (人材育成)					・資格手当や資格取得奨励金を給付することで、従業員の取組意欲を向上させています。これにより、従業員のスキルや能力の向上を促進する。 ・異業種交流会への従業員派遣を実施している。これにより、従業員の視野を広げ、異業種の知見や経験を取り入れることで、新たなアイデアやイノベーションの創出につながっている。 ・外国人従業員の能力開発を支援している。多様な文化やバックグラウンドを持つ従業員の能力開発は、国際的な協力や包括的な社会の実現に貢献する。外国人従業員のスキル向上や言語習得の支援を通じて、ダイバーシティの尊重と国際的な共生社会の構築に寄与している。	ゴール	指標
				4.4	8.2、8.6	17.17	ゴール8	経済 (2) ①	
11	反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄・不正競争行為の防止、個人情報管理の適切な管理、飲酒運転の防止など、法令を遵守する体制を整備している。	社会 (不正防止)					・出退勤時にアルコールチェックを行い、飲酒運転を防止する策を実施しています。これにより、安全な労働環境の確保や交通事故の予防に貢献している。 ・元請や下請け企業に対して、暴力団排除に関する確約を実施している。これにより、不正な勢力の介入や社会的なリスクを回避し、公正で透明なビジネス環境を構築している。暴力団排除の推進は、法の遵守や社会の安定に寄与する。	ゴール	指標
				16.1、16.3、16.5			ターゲット	具体的な取組	
12	自社のSDGsの取組をマネジメントする担当者や担当部署を設置し、CSV (※) などを適切に推進すると共に、災害時等の事業の継続や事業承継など持続可能な事業経営に取り組んでいる。	経済・社会 (持続可能性)					・SDGsの取り組みをマネジメントする担当者を設置している。彼らは企業内でSDGsの推進や進捗状況の管理を担当し、持続可能な開発目標の達成に向けた戦略の策定や実施を行っている。 ・従業員向けにSDGs研修を実施している。この研修では、SDGsの背景や目標についての理解を深め、各従業員が個人レベルでの貢献や行動を意識できるように支援している。 ・従業員全員で2030年までに自社が達成すべき姿を議論し、SDGsを通じて達成するための計画を作成している。従業員の参加を促し、共通の目標を持つことで社内の連携と共感を醸成し、より効果的な取り組みを実現している。 ・SDGs宣言やSDGsへの取組に関する情報を開示しています。透明性と責任を重視し、外部に向けて自社のSDGsへの取り組みや進捗状況を積極的に公表することで、社会的な信頼を構築し、他の企業や関係者との協力を促進している。	ゴール	指標
				11.b	12.6	13.1	ゴール4	社会 (4) ③	
							ターゲット	具体的な取組	
							4.7		

※CSV (Creating Shared Value: 共通価値の創造)  
企業が社会課題に取り組む、社会に対して価値を創造することでビジネス (経済的な価値) を創出すること。

## SDGs 達成に向けた宣言書

宣言日 令和 5 年 8 月 30 日  
 団体名 ビルドメンテック株式会社

私たちは、SDGs の内容を理解し、SDGs の達成に向けた方針及び取組を以下のとおり宣言します。

## ◆ SDGs 達成に向けた取組方針等

弊社は、2030年のSDGs達成年に「廃棄物の減少の実現」の為「建設に関する新技術の開発」を目指しており、その中で弊社がどのような貢献をすることができるのかを考え、社員一丸となってSDGsの取組みを推進していきます。

## ◆ SDGs 達成に向けた重点的な取組

達成を目指す分野に「○」	SDGs 達成に向けた重点的な取組	指標 (KPI) ・ 目標値		最も関連性のある「北九州市SDGs未来都市計画」の指標や取組 ※どちらか一方のみの記載で構いません。
		指標 (KPI)	目標値	
経済	・産廃事業部と従業員全員で協力し、廃棄物の処理 ・旧技術に比べて環境への影響が少なく、廃棄物が発生しにくい新技術の開発・導入	指標 (KPI)	廃棄物量の削減	指標
社会		目標値		環境 (2) ②
環境 ○		2030年	2022年 100% ↓ 2030年 70%	具体的な取組 環境 (2) ウ
経済 ○	・廃棄物削減の為、耐久性及び長期的な材料の利用で新技術及び新製品の開発	指標 (KPI)	NETISに登録	指標
社会		目標値		経済 (1) ②
環境 ○		2030年	2023年 4件 ↓ 2030年 6件	具体的な取組 環境 (2) ウ
経済	・働き方改革の推進 ・有給休暇の積極的な活用の推進 ・従業員への車の支援と半割社宅の支援 → 働きやすい環境	指標 (KPI)	従業員数	指標
社会 ○		目標値		社会 (3) ①
環境		2030年	2023年 38人 ↓ 2030年 50人	具体的な取組 社会 (1) イ

## 記載について

- 「SDGs 達成に向けた重点的な取組」は、3つまでご記入できます。
- 必ず全ての分野（経済・社会・環境）の達成を宣言してください。  
（1つの取組みで3つの分野を達成しても、複数の取組みで3つの分野を達成しても構いません）
- 指標（KPI）は、原則として数値目標を記載してください。

## 地域課題への取組み

団 体 名 ビルドメンテック株式会社

私たちは、地域課題の解決を通じてSDGsを達成するため、北九州市の取組みに参加しています（今後、参加します）。

取組名	具体的な取組内容
99 その他（市と連携した取組み）	花咲くまちかどづくりの為、スポンサー花壇への協賛

## 記載について

- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」の中から、現在取り組んでいるもの（今後取り組むもの）を少なくとも一つ選択し、具体的な取組内容を記載して下さい。
- ・これから取組みを始める場合は、選択した取り組みの担当部署に連絡をし、所定の手続きを済ませた上で本書を提出して下さい。
- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」以外で、貴団体が自主的に行っている取組みについても、併せて記載いただいても構いません。